

ポーラ・オルビスHD

カスタマイズサプリメント企業へ出資

累計投資先が10件に到達、
投資先企業ポートフォリオを公開



ポーラ・オルビスホールディングスは、社内ベンチャー制度で誕生した「CVC（コーポレートベンチャーキャピタル）事業」の投資先として、カスタマイズサプリメント「FUJIMI BEAUTY SUPPLEMENT」を展開するトリコ（本社：東京都渋谷区、藤井香那社長）に出資を行った。

トリコは、2018年業「SkieNa」を展開4月に設立され、サプリメント「FUJIMI BEAUTY SUPPLEMENT」と、に関する質問結果からカスタマイズ処方されたサプリメントを自社のチャネルで販売しており、モノづくりへのこだわりやビジネスモデルにおいてポーラ・オルビスグループとの親和性が高いと考え、出資に至った。

「今回調達した資金をもとに、『FUJIMI BEAUTY SUPPLEMENT』のさらなる販売促進と認知拡大とともに、FUJIMIブランドの新商品として新たな美容カスタマイズ商品を展開していく。今後トリコでは、『美の要素は人それぞれ違う中で、あなたの肌に合った正しいアプローチで、本来の美しさを引き出し、強くしなやかな肌へ導く』というミッションのもと、確固たるブランドを築き上げていく」とコメントしている。

ポーラ・オルビスグループでは、昨年2月にスタートしたCVC事業の投資先が累計10社に到達し、投資先企業のポートフォリオを含むCVC事業に関するホームページを公開した。

トリコ以外の投資先企業は、ミレニアルライフコーティングカンパニーの「SHE」、次世代スマー トミラー開発の「Nov era」、子ども向けオンラインスクールの「Hallia」、ビューティ

グカム、アパレルD2Cブランド事業の「モデルラット」、インバウンドプラットフォーム事業の「Wamazing」、オンラインフィットネス事業運営の「SOLEU」、デリケートゾーンケア商品の企画販売会社「Merllia」、ビューティ

動画メディア事業の「DINETTE」、インフルエンサーブランドの企画販売会社「PATRA」の9社となっており、ポーラ・オルビスグループが今後どのような事業分野を強化していくのか、その一端を垣間見ることができる。

最新の製造設備を導入することで、ラミネートチューブのハミガキ工場への自動搬入から、内容物充填工程までの無人化を日本で初めて実現する。

また、ハミガキ製造設備や内容物充填機の自動洗浄による作業の効率化を図るとともに、チューブ運搬箱のIT管理によってハミガキ工場とチューブ工場相互の資材の需要、供給データの共有化を行い、タイムリーな生産体制を構築する。

品質管理の徹底に向けては、適正製造基準（GMP）対応による品質管理の徹底、省エネルギー化に向けては、工場敷地内厚生棟の屋上に太陽光パネルを設置し、再生エネルギーの活用と省エネルギーを行っていく。

チューブ工場概要／建設予定地：香川県坂出市番の州22-1（ライオンケミカル㈱オレオケミカル事業所内）▽建築面積：4900㎡▽着工時期（予定）：2019年中▽稼働開始（予定）：2021年中

ライオン

坂出工場で実現

ライオンは、ラミネートチューブの生産からハミガキ内容物の生産、充填、包装、段ボール箱への箱詰めまでの工程を一箇所で行うハミガキの一貫生産を実現し、資材調達の効率化、生産のスピードアップを図る。

一貫生産を行うための建設にあわせて、隣接地に大日本印刷（DNP）がハミガキ用ラミネートチューブの製造設備（チューブ工場）を設置する。

同一敷地内でハミガキとチューブの生産工場を隣接させて稼働させることによって、同社では初めてのハミガキの一貫生産となり、生産性向上を図っていく。また、最新の製造設備を導入することで、生産能力の増強を行う。

オーラルケア市場は、国内での健康志向の高まりに加え、高品質な日本製品に信頼を寄せる海外顧客の支持を得て、需要拡大が続いている。

今後さらに拡大が見込まれる国内外のハミガキの需要拡大に対応するために、同社として初めて、同一敷地内にハミガキとラミネートチューブの生産工場を建設し、ハミガ

キの一貫生産を行うことにした。

また、ハミガキ製造設備や内容物充填機の自動洗浄による作業の効率化を図るとともに、チューブ運搬箱のIT管理によってハミガキ工場とチューブ工場相互の資材の需要、供給データの共有化を行い、タイムリーな生産体制を構築する。

品質管理の徹底に向けては、適正製造基準（GMP）対応による品質管理の徹底、省エネルギー化に向けては、工場敷地内厚生棟の屋上に太陽光パネルを設置し、再生エネルギーの活用と省エネルギーを行っていく。

チューブ工場概要／建設予定地：香川県坂出市番の州22-1（ライオンケミカル㈱オレオケミカル事業所内）▽建築面積：4900㎡▽着工時期（予定）：2019年中▽稼働開始（予定）：2021年中

10月31日の渋谷を一言で表現するのなら秩序の崩壊、カオスだ。今年は区を中心に数々の対策が講じられたが、窃盗未遂や痴漢、暴行の容疑で逮捕者が相次ぎ、翌朝の路上に散乱したごみもその惨状を物語っていた。

ただ、昨年の軽トラ人々は渋谷に向かい、騒ぎが繰り返されるのだろうか。それについては人間が辿った歴史を振り返った時、分析の糸口が見つかるのではないかと私は考える。キーワードは中心の欠如だ。日本では川崎や池袋、お台場と各地で

殺問題について言及した「共同体が普遍的にもつメカニズム」として中心が希薄なときに周囲や末端が肥大化して暴走する」という点に重なるのではないか。また、その前提には19

世紀の仏の心理学者であるギュスターヴ・ルボンが提唱した「一人のアイデンティティや責任感が埋没するため非常に感情的で単純な思考に陥る」という群集心理が働いているのかもしれない。

前述した見解は仮説にすぎないが、渋谷のハロウィン

オーラルケア市場は、国内での健康志向の高まりに加え、高品質な日本製品に信頼を寄せる海外顧客の支持を得て、需要拡大が続いている。

今後さらに拡大が見込まれる国内外のハミガキの需要拡大に対応するために、同社として初めて、同一敷地内にハミガキとラミネートチューブの生産工場を建設し、ハミガ

キの一貫生産を行うことにした。

また、ハミガキ製造設備や内容物充填機の自動洗浄による作業の効率化を図るとともに、チューブ運搬箱のIT管理によってハミガキ工場とチューブ工場相互の資材の需要、供給データの共有化を行い、タイムリーな生産体制を構築する。

品質管理の徹底に向けては、適正製造基準（GMP）対応による品質管理の徹底、省エネルギー化に向けては、工場敷地内厚生棟の屋上に太陽光パネルを設置し、再生エネルギーの活用と省エネルギーを行っていく。

チューブ工場概要／建設予定地：香川県坂出市番の州22-1（ライオンケミカル㈱オレオケミカル事業所内）▽建築面積：4900㎡▽着工時期（予定）：2019年中▽稼働開始（予定）：2021年中

渋谷ハロウィン

私のH & B日記

10月31日の渋谷を一言で表現するのなら秩序の崩壊、カオスだ。今年は区を中心に数々の対策が講じられたが、窃盗未遂や痴漢、暴行の容疑で逮捕者が相次ぎ、翌朝の路上に散乱したごみもその惨状を物語っていた。

ただ、昨年の軽トラ人々は渋谷に向かい、騒ぎが繰り返されるのだろうか。それについては人間が辿った歴史を振り返った時、分析の糸口が見つかるのではないかと私は考える。キーワードは中心の欠如だ。日本では川崎や池袋、お台場と各地で

殺問題について言及した「共同体が普遍的にもつメカニズム」として中心が希薄なときに周囲や末端が肥大化して暴走する」という点に重なるのではないか。また、その前提には19

世紀の仏の心理学者であるギュスターヴ・ルボンが提唱した「一人のアイデンティティや責任感が埋没するため非常に感情的で単純な思考に陥る」という群集心理が働いているのかもしれない。

前述した見解は仮説にすぎないが、渋谷のハロウィン

オーラルケア市場は、国内での健康志向の高まりに加え、高品質な日本製品に信頼を寄せる海外顧客の支持を得て、需要拡大が続いている。

今後さらに拡大が見込まれる国内外のハミガキの需要拡大に対応するために、同社として初めて、同一敷地内にハミガキとラミネートチューブの生産工場を建設し、ハミガ

キの一貫生産を行うことにした。

また、ハミガキ製造設備や内容物充填機の自動洗浄による作業の効率化を図るとともに、チューブ運搬箱のIT管理によってハミガキ工場とチューブ工場相互の資材の需要、供給データの共有化を行い、タイムリーな生産体制を構築する。

品質管理の徹底に向けては、適正製造基準（GMP）対応による品質管理の徹底、省エネルギー化に向けては、工場敷地内厚生棟の屋上に太陽光パネルを設置し、再生エネルギーの活用と省エネルギーを行っていく。

チューブ工場概要／建設予定地：香川県坂出市番の州22-1（ライオンケミカル㈱オレオケミカル事業所内）▽建築面積：4900㎡▽着工時期（予定）：2019年中▽稼働開始（予定）：2021年中